



地域のために必要な海業とは？  
フィッシャーマン・ジャパン

# 長谷川 琢也

LINEヤフー株式会社 サステナビリティ推進統括本部  
サストモ統括編集長/地域カーボンニュートラル促進プロジェクト担当  
一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン Co-Founder  
株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング 取締役  
合同会社さかなデザイン EP  
フィッシャーマン・ジャパン研究所 Co-Founder  
一般社団法人DOFORFISH 事務局長  
一般財団法人ネイチャープレナージャパン 理事  
東北大学 特任研究員

1977年3月11日生まれ

ヤフー（現LINEヤフー）のサラリーマン23年目

震災後にヤフー石巻復興ベースを立ち上げ、石巻に移住

フィッシャーマン・ジャパン立ち上げ人の1人

自治体の森や海のカーボンニュートラル/ネイチャーポ  
ジティブ事業のお手伝い

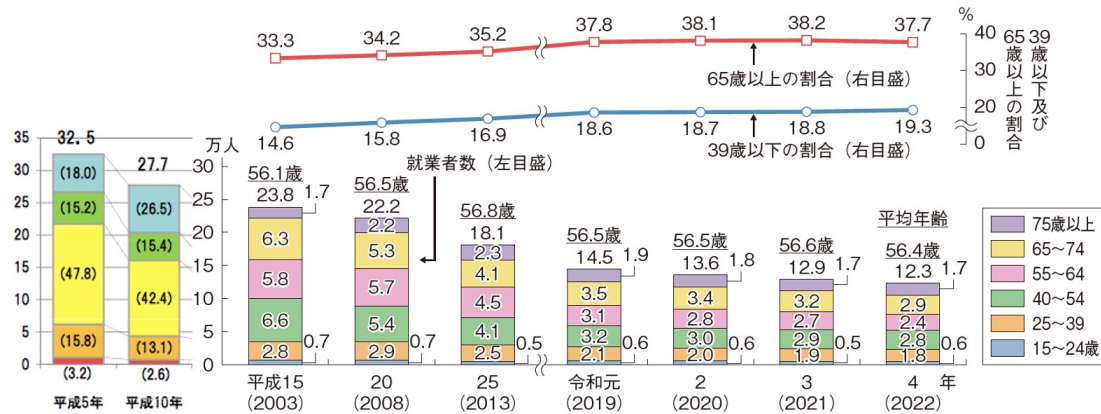
サステナブルメディア&プラットフォーム「サストモ」  
統括編集長。



# 日本の水産業

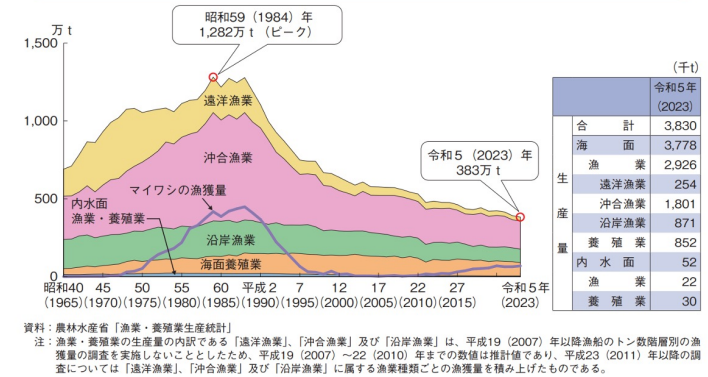


## 減り続ける日本の漁師



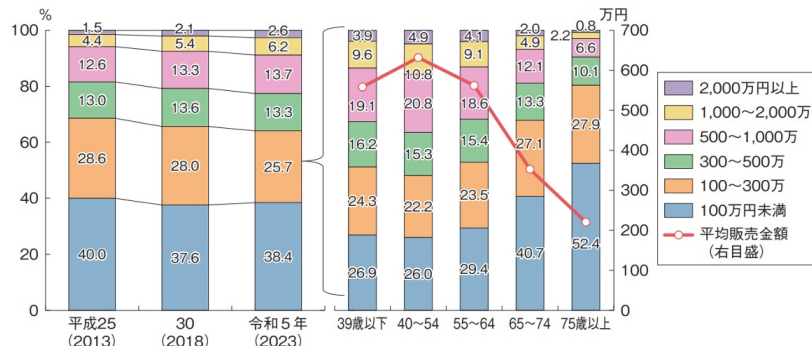
## 減り続ける日本の水産業の生産量

図表2-1 漁業・養殖業の生産量の推移

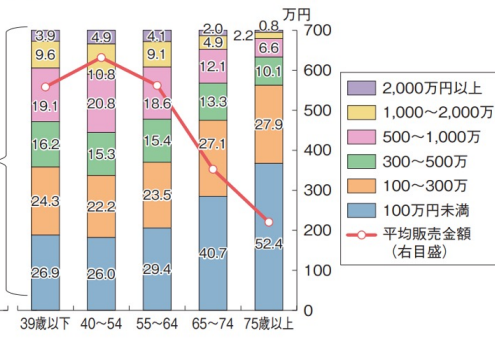


## 漁師の収入

図表2-7 沿岸漁船漁業を営む個人経営体の販売金額規模別の内訳



図表2-8 沿岸漁船漁業を営む個人経営体の基幹的漁業従事者の年齢階層別の販売金額規模別の内訳及び推計平均販売金額 (令和5 (2023) 年)

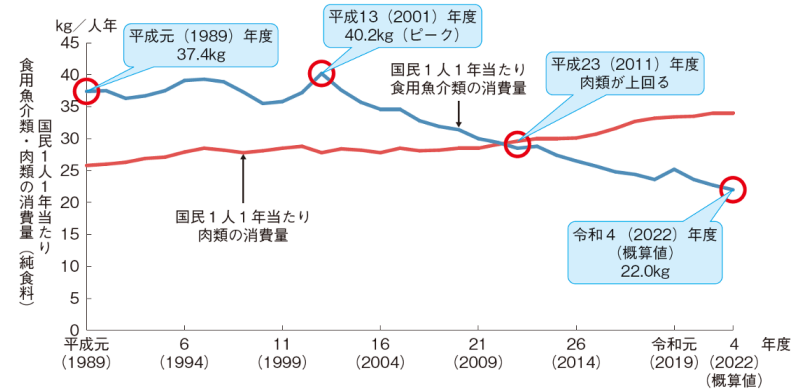


資料：農林水産省「漁業センサス」に基づき水産庁で作成  
注：沿岸漁船漁業とは、船外機付漁船及び10トン未満の動力漁船を使用した漁業。

資料：農林水産省「2023年漁業センサス」(組替集計)に基づき水産庁で作成  
注：沿岸漁船漁業とは、船外機付漁船及び10トン未満の動力漁船を使用した漁業。


## 減り続ける日本人の魚食消費

図表1-3 食用魚介類の1人1年当たり消費量の変化 (純食料ベース)



資料：農林水産省「食料需給表」



A serene sunset scene over a body of water. The sky is a deep blue, transitioning to a lighter blue near the horizon where the sun is setting. The water is calm, reflecting the colors of the sky. In the foreground, a dark wooden pier extends into the water. Several boats are visible, including a small white boat on the left and a larger boat on the right. The overall mood is peaceful and contemplative.

**親も子供に  
「勉強して役場職員にでもなれ」  
と言うありさま**

The background image shows a coastal scene at sunset or sunrise. The sky is a mix of blue and orange, with wispy clouds. In the foreground, there are two fishing boats on the water. The boat in the immediate foreground is white with a yellow buoy net. The boat behind it is also white. The water is dark blue with some ripples. In the distance, there are some buildings and a hillside.

# 小さな島国日本。

限られた資源の中で、世界三大漁場をはじめとする豊かな海に生かされてきた。







# 東日本大震災

あらゆる日本の課題が浮き彫りに。  
漁業の課題も例外ではなく、  
親世代が漁師を諦めようとしていた。





こんなことで  
東北の漁業を  
無くすわけには  
いかない

A photograph of two men on a boat, likely fishermen, engaged in conversation. The man on the left is wearing a dark blue jacket and yellow rubber gloves, gesturing with his hands. The man on the right is wearing a red life vest over a grey jacket, a blue and orange patterned knit hat, and a grey scarf. They are standing on the deck of a boat with the ocean and distant mountains in the background. The text is overlaid on a semi-transparent dark grey rectangle in the center of the image.

**いまこそ  
浜を越え、職業を越え、  
強いチームをつくらう**





## 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン

震災から3年経った2014年5月、漁師8名、魚屋3名、事務局2名で発足





# 活動理念

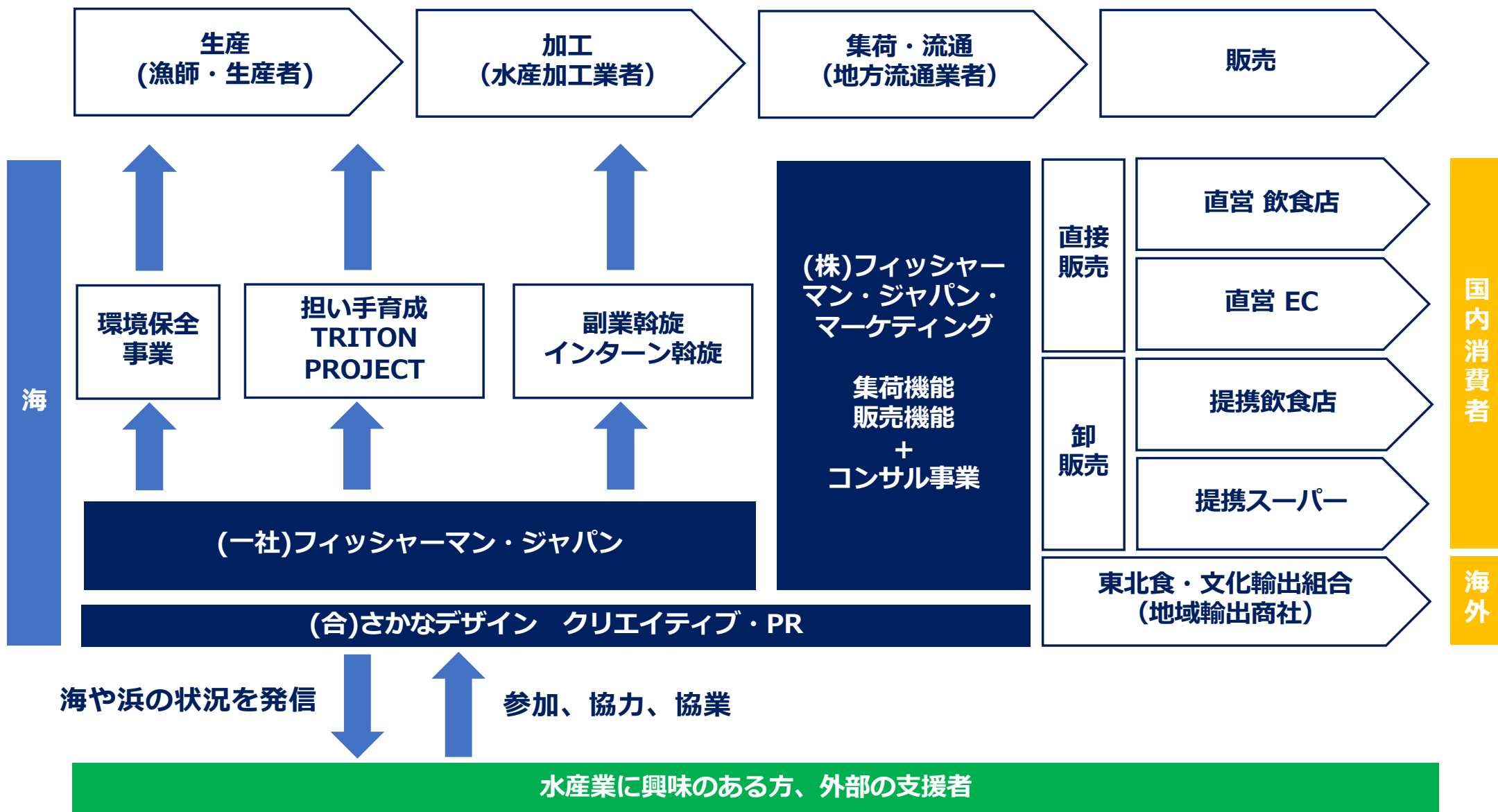
三陸から日本の水産業を“新3K”産業に変える

新3K=カッコいい、稼げる、革新的

# ビジョン

2024年までに 三陸に多様な能力をもつ新しい職種

「フィッシャーマン」を1,000人増やす



**漁業・水産業がピンチっぽい！**

**どうしよう！**



ピンチを救う？！海業とは？

海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるものをいう。

(文章/イラスト 水産庁「海業の推進」より)



# フィッシャーマン・ジャパンが 苦勞した漁業体験の「型」





移動手段や移動時間、宿泊場所、旅行業免許などを考慮するとお客さんからもらうお金と、地域に落ちるお金のバランスが難しい・・・

最小催行人数にはかはかする・・・

地域の協力を取りつけるのも心労が・・・

持続可能なビジネスにならない・・・

**ビジネスとしても、地域の  
ソーシャルインパクトとし  
ても、弱いし不安定かも！**

(少なくとも石巻の漁村では)

**それを踏まえて続けている  
フィッシャーマン・ジャパンの  
体験事業**

# フィッシャーマン・ジャパン note

note

キーワードやクリエイターで検索

投稿

ログイン

会員登録



FISHERMAN JAPAN - フィッシャーマン・ジャパン

漁業のイメージをカッコよくて、稼げて、革新的な「新3K」に変え、次世代へと続く未来の水産業の形を提案していく若手漁師集団。公式サイトはこちら  
<https://fishermanjapan.com/>

11 フォロー 311 フォロワー

フォロー

マガジン



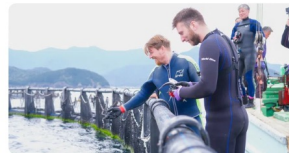
チームTRITON南伊勢  
14本

フォロー

フィッシャーマン note

フォロー

ホーム 記事 マガジン スキ 月別



マグロと泳ぐ!? 日本でも極めて珍しいツナツアーが南伊勢町で始動中。

FISHERMAN JAPAN - フィッシャーマ... 10日前

2 1



岩のり摘みに寒鰯祭り(かんだらまつり)。1泊2日でめぐる、浜の暮らし体験ツアー @山形県鶴岡市由良



マグロ養殖の生簀で泳ぐ!? ツナツアーが拓く、漁業の新たな可能性

FISHERMAN JAPAN - フィッシャーマ... 10日前

11 1



入社半年でアメリカへ。ロサンゼルス出張で見た水産加工品の可能性

FISHERMAN JAPAN - フィッシャーマ... 3週間前



震災を経験した私たちは、いま能登とどう向き合うのか。

FISHERMAN JAPAN - フィッシャーマ... 2週間前

13 1



【リアルミーティング開催レポート】南三陸町で深める、ネイチャーポジティブな町とは



# 漁村の雇用を直接的に増やすための活動 「TRITON PROJECT」 「&ANGLER」





# 漁村の雇用を直接的に増やすための漁業体験



西伊豆 ANGLER 釣り人漁師を増やす「西伊豆 & ANGLER」。西伊豆町で釣り人移住者3人が漁業権を取得。

釣り人漁師を増やす「西伊豆 & ANGLER」。西伊豆町で釣り人移住者3人が漁業権を取得。



【漁師のリアルを体験】南伊勢漁師塾 × TRITON SCHOOL 定置網編 体験レポート





# 未来に続く「漁村プライド」を育むための漁業体験 「すぎょいバイト」「うおうおシリーズ」



# 未来に続く「漁村プライド」を育むための漁業体験



石巻にしかない、海の1日アルバイト「すぎょいバイト」とは？



ホヤ好き高校生がホヤ漁師のお手伝い。  
すぎょいバイト4日目レポート。



石巻の女子高生2人が魚YouTuberに。  
すぎょいバイト4日目レポート。



タコってどうやったらバズりますか？すぎょいバイト3日目レポート。



うおうおキッチン始めました



第3回 うおうおキッチン 三和の秋の味覚、宮水生はやっぱりさばくのうまかった編



第2回 うおうおキッチン ミノリフーズの秋鮭でバーガーかぶりついちゃうよ編



第1回 うおうおキッチン 布施商店のあなご・盛信冷凍庫のいわしで贅沢ご飯編



# 【番外編】 未来にバトンを渡すための バーチャル漁業体験@大阪・関西万博



万博BLUE OCEAN DOMEで開催「発見！体験！集え 未来のフィッシャーマン！」7日間レポート

## Day 1 | 定置網で漁師体験！(7/28)

初日は、本物の定置網を使って魚を獲る漁業体験。  
まずは魚や漁の種類について学びます。さらには石川県能登町から、定置網で漁を行っている中田洋助さんにお越しいただきました。現役漁師の登場に、子どもたちも大興奮。東京ドーム2個分くらいの大きさの定置網では、10mくらいのジンベエザメやリュウグウノツカイが入ってしまうこともあるそうです。



## Day 2 | 一本釣り漁師体験！カツオから学ぶ食文化(7/29)

2日目は、大阪の味にも欠かせない「かつお節」のルーツに迫る体験。  
カツオの一本釣りを模擬体験し、さらにかつお節を削るワークにも挑戦。  
「網漁業と比べて、魚に傷が付きにくく鮮度が保てる」といった一本釣りや他の漁法などについて学びます。実際に、カツオの重さと同じオモリがついた、本物の釣竿も持ち上げることに。3人でやっと持ち上げられるほどで、その重たさに子供達もびっくり。



## Day 3 | へいっしょに！魚屋体験(7/30)

子どもたちが魚屋さんになりきる一日。  
「美味しいお魚を買ってもらうにはどうしたらいい？」という問いかけから始まった3日目。魚の特徴や食べ方を学びます。市場で魚を仕入れて、チームごとに値段を決めて「いっしょに！」と売り込みを体験。



**「漁村に何かをもたらしてくれるであろう人」に  
体験してもらったための漁業体験**





# 「漁村に何かをもたらしてくれるであろう人」に 体験してもらおうための漁業体験

## インバウンド（観光・販路）



マグロと泳ぐ!? 日本でも極めて珍しい  
ツナツアーが南伊勢町で始動中。

## バイヤーツアー



## 学生（インターン）



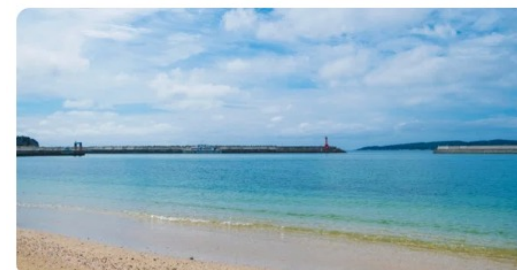
1ヶ月全力投球して、石巻の水産業に変革  
を起こす学生インターンを募集 -  
FISHERMAN COLLEGE 2026春工...

## 副業呼び込み



報酬は魚払い! 都会にいても地域に貢献  
できる。あなたの力が水産業を変えられ  
る。「Gyosomon!」マッチングイベント ...

## 企業研修（環境・新規事業・リーダーシップ）



「環境貢献」も「社員の笑顔」も叶える! ブ  
ルーカーボンで海とつながる日帰りツア  
ー 申し込み開始



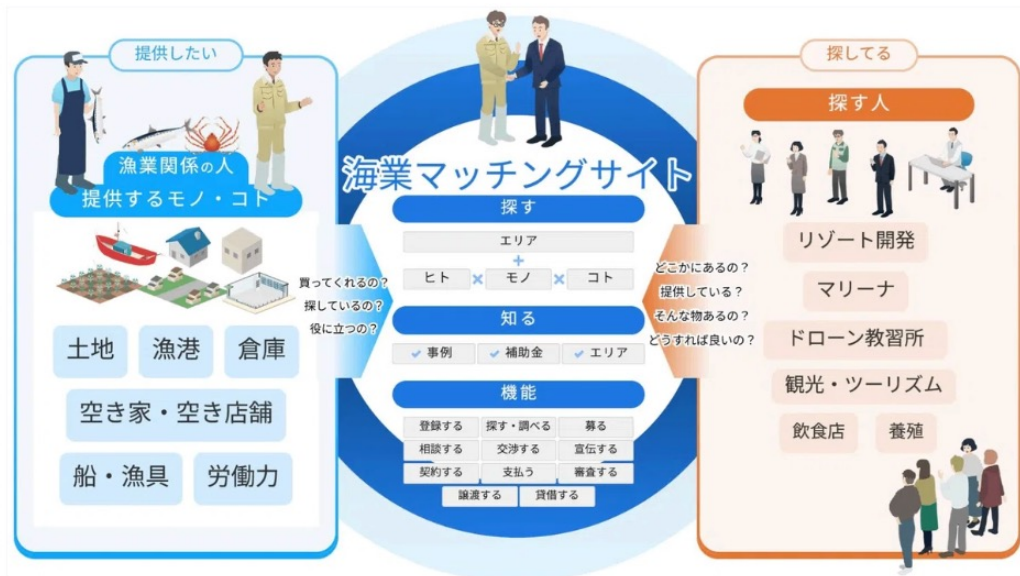
【リアルミーティング開催レポート】南三  
陸町で深める、ネイチャーポジティブな町  
とは



# 「漁村に何かをもたらしてくれるであろう」 海業マッチング

「海業マッチング」は、全国の漁協や自治体等が保有する漁港施設・建屋・土地・港湾内水域などの遊休資産と、それらを活用して新たな事業(観光、飲食、養殖、加工販売、交流イベント等)を展開したい民間企業等をつなぐ、オンラインのマッチングサービスです。

全国的に水揚げや漁業者数の減少、施設の遊休化が進む漁村地域において、本サービスは地域の眠れる資源を発掘して利活用を推進することにより、漁村地域に新たな賑わいと収益機会の創出することを目指しています。



## モデルケース



### 漁協 遊休施設の活用

漁業の縮小により使われていない漁協の施設。海に近い好立地を活用したい借り手とのマッチング。



### 漁港 未利用土地の活用

利用頻度が下がり、放置されている漁港。アクティビティーや事業目的などの利用目的で探している事業者とのマッチング。



### 使わない漁具の活用

温暖化の影響で獲れる魚種が変わる漁具が放置されている。

海業マッチング

あらためて海業とは？

海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるものをいう。

(文章/イラスト 水産庁「海業の推進」より)

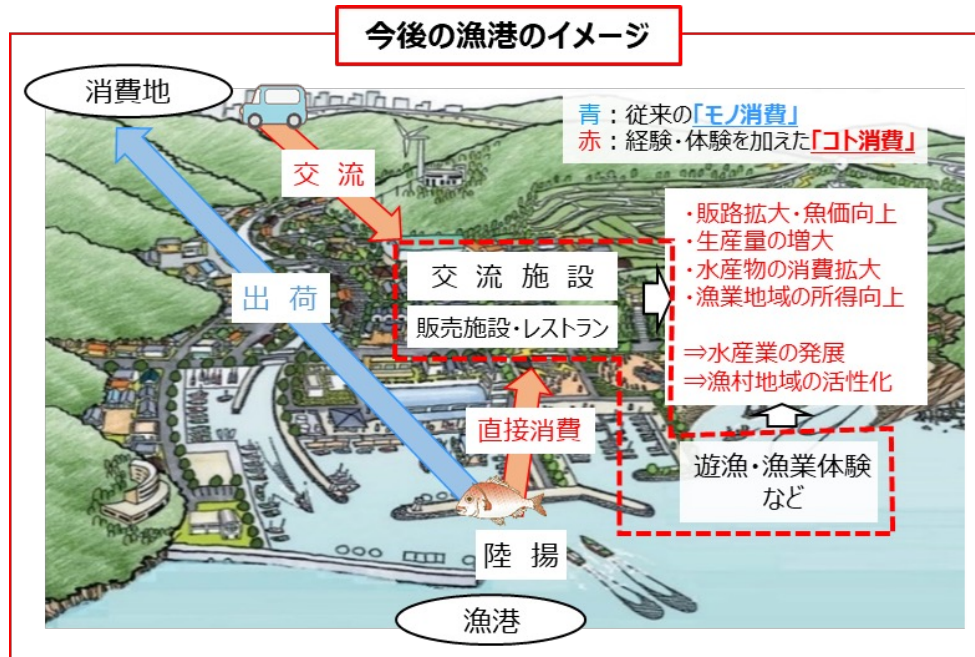




大事ななのは「誰のための活動なのか」じゃないかしら？



# 失敗から学び、考え続けていること



- ・ 売りたいモノやサービスはこれからもあり続けるか
- ・ 誰のためになるか。本気でやりたいことなのか
- ・ 嫌がる人がたくさん出てきてしまわないか  
(何かに負荷をかけすぎないか)
- ・ 長期的な費用対効果を考えられているか  
(勝手なマイナスを未来に渡さない)

ビジネスとしても、地域のソーシャルインパクトとしても。  
未来につながるできるだけハッピーな取り組みを。





ご清聴ありがとうございました





はじめから知っている。  
革命なんて簡単には起こせない。

ひとりでできないことは  
みんなでやればいい。  
いちどにできないことは  
ひたすら続けられればいい。

漁師、活魚屋、加工屋、バイヤー、仲買人、漁協、行政、事務職、営業、製造、販売員。パートもアルバイトも。彼らと共に挑む、料理人、IT企業、アパレル、電機メーカー、カメラマン、出版社、旅行社、建築家、クリエイター、ライター、デザイナー、ミュージシャン——。

水産業に関わるあらゆる働き方を選んだ人を  
「フィッシャーマン」と名付けたら、

できることがもっと増える。  
きっと何かを変えられる。

集え。水産業の明日を担うフィッシャーマン。

限りなき挑戦はたのしい。

# BE A FISHERMAN